



令和6年1月19日
第498号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

人の在り方

校長 飯塚 進

令和6年がスタートしました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年からスタートで大変な出来事が起きてしまいました。石川県の能登半島を中心に起きた地震です。亡くなられた方や行方不明の方がたくさんいらっしゃいます。また、避難生活を余儀なくされるなど、被害は甚大です。羽田空港で飛行機の事故も起きました。この事故でも、海上保安庁の方が何人も亡くなっています。亡くなられた方には御冥福をお祈りするとともに、被害を受けた方にお見舞いを申し上げたいと思います。

今生きていること、普通に生活できていることに改めて感謝し、これからも命を大切にすゝる気持ちをしっかりとたなければならぬと強く感じました。

この2つの事故は、大変悲しい出来事ですが、そんな中であっても、「人の在り方」について考えさせられたことがいくつかありました。

まず1つ目は、震災が発生した際、全国から自衛隊、消防隊、警察、レスキュー隊、医療関係者、ボランティア等の皆様が石川県に駆け付けたことです。御自分の生活、家族もあるであろうに、また御自身に危険が及ぶこともあるであろうに、人々を救おうとする姿に尊敬の念が絶えません。

2つ目は、石川県の星稜高校が、地震の次の日に、全国高校サッカー選手権に出場した際の出来事です。石川県からは応援に来ることができません。それを知った神奈川県の高校生が応援団となって、星稜高校を応援したそうです。他にもたくさんの皆様が星稜高校を応援しました。対戦相手の市立船橋高校のみなさんも応援したそうです。人を思う心に感銘を受けました。

3つ目は、飛行機事故のことです。日本航空の乗務員の皆様が、日頃の訓練を生かして、火が燃え始めた飛行機から、乗客乗員379人全員を無事避難させたということです。これはかなり奇跡に近いことらしいのです。日本航空の乗務員の皆さんは、プロとして乗客の命を守りました。また、パニックになってもおかしくない状況でありながら、乗客の皆さんが冷静に順番を守って避難したことも幸いしたのだと思います。事故はあつてはなりませんが、学ぶべきことが多いと思います。

改めて自分や周りの人の「命」、そして「人を思う心」を大切にしなければならぬと考えさせられました。

今年も子どもたちにとってよい1年になることを願っています。